



【 鈴木 茂 プロフィール 】

- ・昭和30年生れ。
- ・大石小・中学校、熊谷高等学校、明治大学法学部卒業。
- ・大宮市立（現さいたま市）春里・泰平・指扇中学校教諭。
- ・大石小・中学校 PTA 会長。
- ・上尾私立幼稚園協会副会長。
- ・全埼玉私立幼稚園連合会理事。

【 現在 】

- ・上尾市議会議員 文教経済常任委員会所属
- ・(学)浅間台幼稚園園長
- ・(社)特別養護老人ホーム「パストーン浅間台」理事長
- ・上尾市幼児教育振興協議会委員
- ・上尾市保育審議会委員

問い合わせ先 後援会事務所 〒362-0073 上尾市浅間台2-18-3
TEL 048-771-7656 FAX 048-774-5880 E-mail info@asamadai.ed.jp
浅間台幼稚園 〒362-0076 上尾市弁財2-5-3 TEL 048-774-1046

みなさん今日は、上尾市議会議員 鈴木 茂です。6月4日から6月20日まで上尾市議会定例6月議会が開かれていました。私、鈴木茂は、6月13日に市政に対する一般質問を致しましたので報告させていただきます。

①子育て支援について

6月5日に厚生労働省が発表した2012年の合計特殊出生率は1.41。前年比0.02ポイント増。しかし、出生数は1,037,101人で前年比△13,705人の減で、過去最少。

平成25年4月の上尾市の人口は、227,526人。5年前の平成20年4月の人口は、225,340人。2,186人の増。しかし、年齢別人口を見ると、平成25年は、

0～14歳の人口は、30,393人。65歳以上の人口は、51,989人。5年前の平成20年は、
〃 32,330人。 〃 41,674人。

つまり、0～14歳（子供）は、11,281人の減。65歳以上（高齢者）は、19,065人の増。

我が国の年金を始めとする社会保障費の問題、経済の停滞等、全て少子高齢化に起因する。

上尾市に於いても、子供がいない、若者がいないでは、町に活気が失われ、さびれていくだけである。上尾市は子育て支援に熱心な街、若者が住みやすい街として、若者に選ばれる街を目指すべきだと私は、強く思う。

子育て支援センター、つどいの広場、子育てサロン、愛育班の担当部署とその違いは？

回答 「子育て支援センター」及び「つどいの広場」がこども支援課。「子育てサロン」が保育課。「愛育班」が健康推進課。

「子育て支援センター」は地域の子育て支援の核として、保育所等の児童福祉施設、公共施設で実施。「つどいの広場」は、子育て家庭の親と子どもが気軽につどい、相互交流を図る場を提供。公共施設、空き店舗、公民館等、子育て親子が集う場として適した場所を定めて実施。

「子育てサロン」は、主任児童員が中心となり、親子が集って遊べる交流の場として、文化センターと大石公民館で月2回開催。

「愛育班」は、子どもから高齢者までの「健康な暮らし」を地域で応援する自主団体。活動の一つとして、就学前の親子を対象に「親子のつどい」を実施。

それぞれの予算額は？

回答 「子育て支援センター」は7か所の合計で5,336万円。「つどいの広場」は4か所の合計で1,529万1千円。「子育てサロン」は、22万2千円。「愛育班」は、207万円。

○今年5月4日尾山台団地で中国籍の女性が2歳の長女を団地の4階から投げ落とす事件があった。慣れない日本の生活で2歳・1歳の子を育てなければならない、育児ノイローゼから起こった悲しい事件である。

上尾市の子どもへの虐待数は？

回答 平成24年度、市で受けた児童虐待相談件数は72件。中央児童相談所で受けた上尾市内の児童虐待相談件数は157件。23年度比16件の減少。

虐待を防ぐための対策は？

回答 平成18年に「上尾市子ども支援ネットワーク」を要保護児童対策地域協議会として設立。「上尾市子ども支援ネットワーク」では、福祉、教育、医療保健、警察などの関係機関と民間団体が相互に情報を共有し、具体的な支援内容の検討・研修、児童虐待防止の啓発活動等を実施している。

意見 3歳からは幼稚園か保育所に入所する。先生方の目もあり、親も子どもから離れる時間が持て子どもへの虐待の心配は少なくなる。問題は、それ以前の0～2歳。取り分け産褥期。祖父母の手伝いを受ける事ができる人は良い。しかし、すでに亡くなっている。遠方で手伝いが難しい父親は仕事で忙しい。そのような家庭では、沐浴も一人で行うのは大変である。やがて育児ノイローゼ、虐待へと繋がる恐れがある。産褥期の手伝いを北本市、戸田市、ふじみの市等の自治体では行っている。

上尾市でも産褥期のヘルプサービスを実施すべきと考えるが、市の見解は？

回答 市の事業としては実施していないが、社会福祉協議会の「あげお在宅福祉サービス」及び「シルバー人材センター」で同様の事業を実施。利用状況は、「あげお在宅福祉サービス」が1件。市としては、「子ども・子育て支援事業計画」の課題として検討していきたい。

意見 市では、保健センターで、4ヶ月検診、1歳6ヶ月検診、3歳児検診を実施。祖父母等の援助が受けられない場合は、兄弟がいると受付から受診終了までの時間が長く負担が大きいと聞く。

4ヶ月検診、1歳6ヶ月検診、3歳児検診の際に介助を付ける制度を設けたらどうか？

回答 7月1日からは、乳幼児健診は東保健センターで実施。検診室には、着替え台や荷物入れの棚を整備。待合室を広くし、兄弟を子守しながらゆったりと待つことできるよう配慮したので保護者の負担は少なくなると思う。今後更なる支援が必要か見守りたい。

意見 子育てサロンでは、15～16人の主任児童員が中心に行っているが、聞く所によると任期があり一期3年で任期が終わると子育て支援の活動の場が無くなるとの事。非常にもったいない事だと考える。

主任児童員が任期終了後も地域で子育て支援できる仕組みを創設すべきでは？

回答 主任児童員は、児童福祉に関する理解と熱意を有し、地域における児童健全育成活動の中心となって積極的な活動が期待できる民生委員・児童員の中から選任する。任期は一期が3年間で、64歳未満までの方を選任。民生委員・児童員は75歳未満までの方を選任。主任児童員終了後も、できれば民生員・児童員として地域における児童の健全育成の中心となって活動して頂きたい。

再質問：主任児童員が退任後民生員・児童員に移行した方は何人か？

回答 主任児童員から民生員・児童員に委嘱替えされた方は2名。

要望 せっかく地域で子育て支援に熱心に取り組まれた方が、任期が修了とともに活躍の場を失ってしまうのは残念だ。このような人達が退任後も活躍できるよう市も援助して頂く事を要望する。

意見 「夏休みに子どもを預かってくれる所がなくて困っている。」とお話を伺った。幼稚園の保護者には、昼パートで働いている方がたくさんいる。夕方、時間外保育を利用している方も多い。小学一年生のお母さん、普段は学校がある、その時間パートで働いている。夏休みは学校が無い。一年生を一人で家に置いて置くのは心配。NPO 法人上尾学童クラブに電話すると、学童保育所は一杯で無理。それは、児童館の仕事でさいたま市等の自治体では行っているとの事。

低学年の小学生を長期休業中(夏休み等)に預かる仕組みを作れば子育て支援になると思うが？

回答 現在、市には児童館が東西に2館ある。市内外からの利用者が年間で、アップーランドは約10万人、こどもの城は約20万人。特に夏休みの期間は利用者が多く、昨年7月・8月の1日当たり平均利用者数は、アップーランドが352人、こどもの城が771人。館内が大変混雑することから、利用者の安全に十分な配慮が求められている。市では、児童館を児童が健全な遊びについて接する事を目的とした施設と位置付けており、そのための体制は整えているが、低学年の小学生を預かるための人的体制や施設面での整備はなされていない。また、平成22年度から5年間、指定管理者制度を導入、提案の取り組みを実施する場合には指定管理者と協議が必要となるなどいくつかの課題がある。今後児童館運営委員会のご意見を伺いながら検討していきたい。

病時保育、病後時保育のあり方は？

回答 病時・病後時保育は、児童が病気の状態もしくは回復期にあり、集団保育の困難な場合に、保護者に代わり一時的に預かる事で、子育てと仕事の両立支援を目的とし、現在病後時保育を保育園2カ所、病時保育を病院1ヶ所の3ヶ所で行っている。今後は、利用状況やニーズを把握しながら検討する。

再質問：仕事や経済のために子ども達が犠牲になるのはおかしいと思う。ニーズに応じて検討するとの事だが、ニーズがあるから夜間保育・夜間病児保育となるのか。会社が休めないから病児保育を増やすのではなく、子どもが病気だったら仕事が休める社会環境になるべきだと思う。これはニーズではなく、理念だと思うので市長の考えを聞きたい。

市長答弁 子どもが病気の時は親が付き添うべきだと思う。しかし、昨今の社会情勢を踏まえ今後の方針を考えていきたい。

○ 子ども・子育て関連3法が平成24年8月参議院で可決、成立した。

上尾市の待機児童数は？

回答 4月1日時点で、40名。

こども園に対する市の考え方は？

回答 平成27年度より、「子ども・子育て支援新制度」がスタートする予定。待機児童解消に向け、市内の幼稚園に対し、待機児童が多い0歳児～2歳児の保育の受け入れが可能となる幼保連携型の認定こども園への移行を推進していきたい。

②不登校・ひきこもり対策について

上尾市の不登校数と主な要因は？

回答 平成24年度の不登校数は、小学生26名、中学生101名。主な要因は「不安などの情緒的混乱」「無気力」「家庭環境」

再質問：この数字に出ない教室に入れない児童、生徒はいるのか？

回答 この数字は、年間30日以上登校しない児童・生徒数。この数字に出ない保健室やさわやか相談室に登校している児童生徒もいる。

上尾市の不登校対策は？

回答 教育センターでは、電話相談、来所相談、電子メール相談を行っている。本年度スクールソーシャルワーカー1名を増員。「学校適応指導教室」では、学校やさわやか相談室と連携して、指導・支援を行っている。

再質問：さわやか相談室とさわやか相談員の充実は？

回答 さわやか相談員は、特に資格はない。さわやか相談員に対しては、教育心理専門員等を講師とした事例研究や面接演習等の研修会を行い、資質の向上を図っている。

不登校生徒の中学卒業後の対策は？

回答 各学校や教育センターでは、卒業後も本人や保護者、進学先から相談があった場合には相談に応じている。

意見 不登校の子がやがてひきこもりになり、親がいなくなれば生活保護という負の連鎖の恐れがある。私は、一人でもこの負の連鎖を断ち切りたいと思う。

上尾市のひきこもり者数は、どのくらいと考えられるのか？

回答 国の平成25年度の「ひきこもり対策推進事業」の計画によると「ひきこもり状態」の子どものいる世帯は26万世帯と推計されている。人口で案分すると上尾市では約60世帯程度と推計される。

意見 不登校、ひきこもりの子にとって居場所を確保する事が大切と考える。さいたま市のNPO法人さいたまユースサポートネットでは、埼玉県の彩の国すこやかプラザ2室を借りて、不登校・引きこもり等居場所がない若者に「たまり場」を毎週土曜日に開いている。この「たまり場」に見学に行くと、20人位の大学生やこの「たまり場」のOBの社会人が、15～16人の不登校・引きこもりの子達の相手をしていて、1室では、お茶菓子を食べながら雑談をしたり、トランプをしていて、もう1室では、勉強を1対1で教えていた。

上尾市には不登校やひきこもりになった若者の居場所はあるのか？


回答 市内では、上尾医療センター2階にある「精神障害者地域生活支援センター杜（もり）の家」を会場とした家族及び本人の会の「どこでもドア」。引きこもり状態が回復しつつある方を含めて参加できる場所として、杜の家サテライト「梢（こずえ）」がある。

意見 私は、昨年の6月の一般質問で元気で優秀な現役を退いた方が無料で塾に通う事のできない子を教える仕組みを創設すべきと要望した。

このさいたまユースサポートネットのように大学と連携して不登校児やひきこもりの若者のためにボランティア活動を促してはどうか？

回答 教育センターでは、聖学院大学等に学習支援ボランティアを募集し、適応指導教室に通う子供達への支援を行っている。「どこでもドア」でも大学生が来ていた時期もあった。

要望 上尾市には高校生ぐらいのひきこもりの若者の居場所がないと思った。支援の手は早ければ早いほどいい。その子供達がほっとでき仲間づくりができる居場所が必要だ。そんな居場所の創設を要望する。

 間もなく参議院選挙です。私は、市議会議員選挙に立候補する時、国政とは一線を画すとして立候補しました。現実には、中々自分の思うようにはいきません。私の後援会の方も色々な考えの方がいらっしゃる。国政はあまり語らない方が良く思っています。ただ、私は、借金を残す、原発のゴミを残すといった子供達につけを回す政策には賛同しかねます。また、外国との領土問題でも勇ましい意見を述べる方もいますが、いざ戦争になった時に血を流すのは、子供達や若者でありそういった緊張関係を生むような政策や政治家の発言も如何なものかと思っています。愛おしい私達の子や孫の未来のために、平和で豊かな環境を残していく事が、大人の重要な責務だと私は思っています。